

## 2 感想文の部

140校 2,025点（調査票の一言感想も含む）の応募がありました。  
ありがとうございます。

### **最優秀賞** 1点

「ツバメ調査を実施して思ったこと」

能登町立松波小学校 6年 橋本 栞那

私は、たくさん家をまわったけれど、2けんしかツバメを受け入れていなくてビックリしました。私の家では、ツバメがやってくる時期になると、納屋をツバメが過ごしやすい環境に作りかえています。だから、ツバメを受け入れている人の少なさにおどろきました。フンをたくさん落とすし、たまごのからなども落とすのでとてもきたなくなるのは、正直、嫌です。でも、わざわざツバメが私の家を選んでくれて新しい家族や新しい命をつくろうとしていることがうれしいのでツバメを受け入れています。赤ちゃんがとびはじめるころになると、前よりたくさんツバメがとびかっています。楽しそうに「ちゅんちゅん。」と言いながらとんでいるのがかわいいです。それに春から夏にかけて子育てをがんばっている親どりを見ると、すごいなっていつも感心させられます。ツバメを受け入れてくれる人がもっとたくさんふえ、ここで生まれ育ったつばめ達が今度は子育てをするためにまたもどってきたいと思える町にしたいと思いました。

### **優秀賞** 2点

「ツバメ調査を実施して思ったこと」

能登町立松波小学校 6年 表 莉愛

私がツバメ調査をして知った事は、地域の人たちが、ツバメを歓迎していないということです。調査をした数は三件で、三件ともDVDなどがつってありました。学校でツバメ調査の説明があった時に、「歓迎していない所は、DVDなどがつってあるかもよ。」と話していたら本当にありました。お父さんに「なんで歓迎せんのか？」と聞いたら「フンがおちたりするから。」と言っていました。すごく残念でした。だから、私の家にツバメがやったり巣をつくったりしたら、あたたかく優しく接したいと思いました。ツバメ調査は、今年で最後だけど、これからもツバメが住みやすい環境にしていけたらいいなと思いました。私も大人になったら、今日したことを思い出しながら、子どもといっしょにまたツバメ調査をしたいです。私が大人になったころには、ツバメがふえているといいなと思いました。

### 「ツバメ調査を実施して思ったこと」

能美市立寺井小学校 6年 西藤 亜沙美

地域の人に話は聞けなかったけど、つくりもののカラスをおいてヘビをよせつけないようにしたり、巣の下にふん受けが置かれていたり、地域の人がツバメを受け入れている感じが伝わってきてうれしくなりました。ツバメが来ない理由の1つが「エサである昆虫が減ったから」と書いてあって、自分で虫を増やすというのはできないかなと思ったけど、田んぼにいる虫とかは農薬を使わなければ増えるから、地域が協力すればツバメが増えるのかなと思いました。いつか、自分の家にもツバメが来てほしいなと思いました。

## 佳作 2点

### 「ツバメ調査を実施して思ったこと」

能登町立松波小学校 6年 北口 凌駕

今日ツバメ調査をして、ぼくの町には、七十七けんあるけれど、2件にしかツバメの巣がなく、巣は五こでした。見つけたときは、とてもうれしかったです。だいたい納屋か、車庫に巣がありました。ツバメのしゅるいは全部がツバメでした。イワツバメやコシアカツバメも見つけたかったけれど、見つけれなくて残念でした。ぼくの家では、じいちゃんやお母さんは、ツバメが車の上にフンを落すからという理由でツバメをかんげいしていません。ぼくは好きだから大かんげいです。ぼくの家にも巣を作ってほしいけれど、じいちゃん達がかんげいしてないって気付いているのか、一度も巣が作られたことがありません。今回調査をして、なぜツバメは古巣を使って生活していないのか、世界には、どのくらいの種類のツバメがいるのか調べてみたくなりました。来年もぜひ調べたいです。

### 「ツバメが教えてくれること」

小松市立東陵小学校 6年 伊嶋 空郁

五月十一日、私達は一丁目のツバメ調査に出かけた。天候は晴れだった。このツバメ調査の結果を見て、成鳥も巣も古巣も全体的に減っていることが分かった。のき下のない家が増えたり、田んぼが減少していることなどが原因だと思う。一丁目のインタビューでは、ツバメを歓迎していない人はいなかったけど、世の中には、ツバメをいやがる人はたくさんいる。そんな中で、フンを落とすのがいやでも、ツバメを歓迎して、対策をしているお宅があった。私は、「すばらしいな。」と思った。そのお宅には、ツバメの新しい命がたん生しようとしていた。このツバメ調査で、私はツバメの大切さを感じた。環境のよさを伝えてくれるツバメ達に感謝したい。そしてもし私の家にツバメが来たら、喜んで歓迎したい。